

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場会社名 大東港運株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9367 URL <http://www.daito-koun.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 曾根 好貞  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 荻野 哲司 (TEL) 03-5476-9701  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	4,735	6.5	190	93.6	179	82.7	99	88.6
25年3月期第1四半期	4,445	△0.1	98	△10.7	98	△12.0	52	△6.5

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 125百万円(946.8%) 25年3月期第1四半期 11百万円(△76.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	10.58	—
25年3月期第1四半期	5.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	9,831	3,686	37.5
25年3月期	9,838	3,627	36.9

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 3,686百万円 25年3月期 3,627百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,900	△1.6	290	22.1	290	22.3	170	34.5	18.11
通期	17,800	0.8	500	5.1	500	2.5	290	2.4	30.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期1Q	9,389,000株	25年3月期	9,389,000株
26年3月期1Q	3,621株	25年3月期	3,202株
26年3月期1Q	9,385,693株	25年3月期1Q	9,385,798株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、平成25年8月9日に、四半期決算説明資料「第65期（平成26年3月期）第1四半期決算説明資料」を当社ホームページに掲載しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年6月30日)におけるわが国経済は、日銀の大胆な金融緩和を受けた円安と株高の進行、復興需要の継続と大型補正予算の編成等により企業の業況判断ならびに個人消費等は改善基調となりました。内閣府も7月の月例経済報告にて「景気は着実に持ち直しており、自律的回復に向けた動きもみられる」と、回復の文字を入れるに至りました。

但し海外経済においては、米国こそ景気回復が続いているものの欧州は低迷、中国・アジアも景気減速状況が続いており、加えてアベノミクス3本目の矢である「民間投資を喚起する成長戦略」の実現・浸透は未だ見通せず、先行きは不透明な状況で推移しました。

かかる環境下、当第1四半期連結累計期間における物流業界におきましては、米国からの輸入は弱含んでいるものの、アジア・欧州を中心に横ばいとなりました。輸出に関しても持ち直しの動きがみられました。

その中で当社取扱いの大きな部分を占める食品の輸入は、畜産物は冷凍の牛肉・豚肉を中心に増加、水産物は微減、果実・野菜等については増加傾向となりました。

また、鋼材の国内物流取扱いにおいては依然として厳しい状況で推移しました。

このような状況の中、当社グループは「『ありがとう』にありがとう。」のコーポレートフィロソフィーの下で、第4次中期経営計画「お客さま信頼度ナンバーワンを目指して」の最終年度を迎え、その各施策一つひとつに取り組むとともに積極的な受注活動を展開してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における連結売上高は、前年同期間比6.5%増の47億35百万円となりました。また連結経常利益は前年同期間比82.7%増の1億79百万円、連結四半期純利益は前年同期間比88.6%増の99百万円となりました。

セグメント別の営業状況は、次のとおりであります。

## [港湾運送事業および港湾付帯事業]

港湾運送事業は、港湾施設使用料収入およびコンテナ運送料収入が増加したため、売上高は前年同期間比9.2%増の24億12百万円となりました。

陸上運送事業は、コンテナ運送料収入が増加したため、売上高は前年同期間比9.0%増の8億25百万円となりました。

倉庫業は、入出庫作業料収入および保管料収入が増加したため、売上高は前年同期間比6.0%増の8億49百万円となりました。

通関業は、輸入申告料収入が増加した一方、輸入食品衛生検査料収入が減少したため、売上高は前年同期間比5.7%減の5億63百万円となりました。

この結果、港湾運送事業および港湾付帯事業の売上高は前年同期間比6.5%増の46億51百万円となり、セグメント利益は前年同期間比28.9%増の3億83百万円となりました。

## [その他事業]

その他事業は、不動産付帯収入が増加したため、売上高は前年同期間比5.9%増の84百万円となったものの修繕費が増加したため、セグメント利益は前年同期間比44.3%減の4百万円となりました。

## セグメント別売上高

区分	前第1四半期連結累計期間 自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日		当第1四半期連結累計期間 自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日		前年同期間比	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	増減比 (%)
港湾運送事業及び 港湾付帯事業	4,366,086	98.2	4,651,380	98.2	285,293	6.5
港湾運送事業	2,209,031	49.7	2,412,558	50.9	203,527	9.2
陸上運送事業	757,112	17.0	825,343	17.4	68,230	9.0
倉庫業	801,876	18.0	849,760	18.0	47,884	6.0
通関業	598,066	13.5	563,718	11.9	△34,348	△5.7
その他事業						
その他事業	79,864	1.8	84,605	1.8	4,741	5.9
合計	4,445,951	100.0	4,735,985	100.0	290,034	6.5

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

## (総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は9億8千310万円となり、前連結会計年度に比べ700万円減少いたしました。主な要因は現金及び預金が3億8千100万円、有価証券が990万円、繰延税金資産が620万円、関税等立替金他(流動資産・その他)が180万円、無形固定資産が110万円それぞれ減少した一方、受取手形及び営業未収入金が3億9千700万円、前払費用が280万円、投資有価証券が1億4千600万円それぞれ増加したことによるものであります。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は6億1千440万円となり、前連結会計年度に比べ660万円減少いたしました。主な要因は賞与引当金が1億700万円、短期および長期借入金が2億6千100万円、未払法人税等が570万円それぞれ減少した一方、支払手形及び営業未払金が2億200万円、預り金他(流動負債・その他)が1億1千700万円、退職給付引当金が140万円それぞれ増加したことによるものであります。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は3億6千860万円となり、前連結会計年度に比べ590万円増加いたしました。主な要因は利益剰余金が330万円、その他有価証券評価差額金が220万円それぞれ増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきまして、平成25年5月17日に公表した数値に変更はございません。

今後の動向により業績予想の変更が必要な場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,390,917	2,009,211
受取手形及び営業未収入金	2,646,224	3,044,116
有価証券	99,981	—
たな卸資産	226,073	230,674
前払費用	39,947	68,142
繰延税金資産	115,688	61,830
その他	308,714	289,956
貸倒引当金	△17,777	△20,048
流動資産合計	5,809,769	5,683,883
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	415,646	405,555
機械装置及び運搬具(純額)	5,623	5,222
土地	1,412,637	1,412,637
リース資産(純額)	57,523	53,693
その他(純額)	55,067	58,295
有形固定資産合計	1,946,498	1,935,404
無形固定資産	466,336	454,803
投資その他の資産		
投資有価証券	538,891	685,583
破産更生債権等	145,294	145,294
繰延税金資産	347,266	338,154
その他	727,992	731,520
貸倒引当金	△143,361	△143,356
投資その他の資産合計	1,616,084	1,757,196
固定資産合計	4,028,919	4,147,404
資産合計	9,838,689	9,831,287

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,469,098	1,689,532
短期借入金	1,057,492	970,992
未払法人税等	95,042	37,192
賞与引当金	226,942	119,512
その他	345,898	463,449
流動負債合計	3,194,474	3,280,679
固定負債		
長期借入金	1,646,183	1,471,185
再評価に係る繰延税金負債	187,701	187,701
退職給付引当金	1,029,512	1,043,642
役員退職慰労引当金	2,199	2,971
長期末払金	77,240	77,240
その他	73,963	81,240
固定負債合計	3,016,800	2,863,981
負債合計	6,211,275	6,144,660
純資産の部		
株主資本		
資本金	856,050	856,050
資本剰余金	625,295	625,295
利益剰余金	2,059,060	2,092,687
自己株式	△1,062	△1,164
株主資本合計	3,539,343	3,572,867
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	52,495	74,497
土地再評価差額金	29,849	29,849
為替換算調整勘定	5,724	9,411
その他の包括利益累計額合計	88,069	113,758
純資産合計	3,627,413	3,686,626
負債純資産合計	9,838,689	9,831,287

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業収益	4,445,951	4,735,985
営業原価	3,497,492	3,696,326
営業総利益	948,458	1,039,659
販売費及び一般管理費	849,824	848,676
営業利益	98,633	190,982
営業外収益		
受取利息	1,024	1,115
受取配当金	4,909	4,339
受取保険金	—	514
受取地代家賃	1,147	1,512
有価証券償還益	—	834
その他	4,130	3,351
営業外収益合計	11,211	11,667
営業外費用		
支払利息	8,090	8,479
複合金融商品評価損	2,983	14,446
その他	478	153
営業外費用合計	11,552	23,079
経常利益	98,292	179,571
特別損失		
固定資産除却損	703	1,490
投資有価証券評価損	1,779	—
特別損失合計	2,483	1,490
税金等調整前四半期純利益	95,809	178,081
法人税、住民税及び事業税	2,998	33,054
法人税等調整額	40,144	45,699
法人税等合計	43,143	78,754
少数株主損益調整前四半期純利益	52,665	99,327
四半期純利益	52,665	99,327

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	52,665	99,327
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△42,794	22,001
為替換算調整勘定	2,072	3,687
その他の包括利益合計	△40,722	25,688
四半期包括利益	11,942	125,015
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,942	125,015
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	港湾運送事業及 び港湾付帯事業	その他事業	合 計		
営業収益					
(1) 外部顧客に 対する営業収益	4,366,086	79,864	4,445,951	—	4,445,951
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	15,283	15,283	△15,283	—
計	4,366,086	95,147	4,461,234	△15,283	4,445,951
セグメント利益	297,477	7,728	305,205	△206,572	98,633

(注) 1. セグメント利益の調整額は、全社費用206,572千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	港湾運送事業及 び港湾付帯事業	その他事業	合 計		
営業収益					
(1) 外部顧客に 対する営業収益	4,651,380	84,605	4,735,985	—	4,735,985
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	13,228	13,228	△13,228	—
計	4,651,380	97,833	4,749,214	△13,228	4,735,985
セグメント利益	383,455	4,308	387,763	△196,780	190,982

(注) 1. セグメント利益の調整額は、全社費用196,780千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。